

共生社会システム学会 2026年度大会公開セミナー

(白梅学園大学大会)

2026年**10月10日(土)** **14:00~15:30**

開催場所：白梅学園 J14教室

第1回 市民・学生(高校生を含む)セミナー

「共生」とは何か： 人と自然との持続的な関係を考える

■ 第1回セミナー 「「答えのない時代」をどう生きる－研究者の「リアルな1歩」－

設立20周年を迎えた共生社会システム学会では、私たちがめざすべき共生とは何か？という問いに対して、多角的なアプローチを続けてきました。今回のセミナーでは以下の3つのテーマに焦点を当てて考えます。

挨拶：共生社会システム学会会長 柏 雅之(早稲田大学教授)

1 「人と動物との共生」

講演：桑原 考史

(日本獣医生命科学大学准教授)



私たちの食を支える畜産の、またペット等の身近ないのちのあり方を再検討します。つぎに、迷惑現象や動物問題となっているクマなどの野生動物の管理問題を取り上げ、人と動物との共生のあり方を再検討します。

2 「自然・環境との共生」

講演：朝岡 幸彦

(白梅学園大学教授)



気候変動、生物多様性損失や枯渇性資源などの諸問題に対処するために、私たちは何を学ぶべきか。地域の資源を次世代につなぐために、ネイチャー・地域環境教育の提案を通して考えます。

3 「持続可能な食料・農業」

講演：植木 美希

(日本獣医生命科学大学名誉教授)



いのちを育む「食」と「農」をいかにして再生すべきか。有機農業や動物福祉の意義と課題を通して考えます。

◇ **参加費無料**：どなたでも参加できます。

参加申し込みはこちらから



共生社会システム学会とは

共生社会システム学会は、2006年に「持続可能性」、「コミュニケーション」などの概念や「農」の摂理を踏まえ、人文社会科学の今日の総合的視点を「共生」と定義し、そこから共生持続社会の構築に必要な問題の解明と現状分析方法の確立、問題の解決方策の定立を目指そう、と設立されました。

会場へのアクセス



当日正門に会場までの案内図を掲示します。



共生社会システム学会
— The Association for Kyosei Studies —